

「情セン めいわくメール シュレッター」 をご利用ください！



インターネットの普及により、チェーンメールやミニブログなどで、間違っ
た情報や根拠のないウワサが流され、迷惑を被ったり、被害を受けてしま
うことがあります。

特に、「他の人に知らせてください！」という内容のチェーンメールについては、次のような特
徴があるため、間違った情報を広げてしまう恐れがあります。

- (1) 情報の出所がわからない。
- (2) 転送が繰り返される中で情報の内容が変わることがある。
- (3) その情報を広めることが必要なくなっても、止めることができない。

また、児童生徒の間で広がっているチェーンメールの中には、「転送しないと、よくないことが
起こる」など不安感をあおるメールなどもあり、十分な情報モラル教育を受けていない児童生徒が
一人で悩んでしまう例も見受けられます。

**どんな内容でも、相手に転送させることを目的とするメールは、チェーンメールという
「めいわくメール」になります。**

北海道立教育研究所附属情報処理教育センターでは、特にメールについて、個々の児童生徒によ
る理解の度合いを考慮し、チェーンメールに対する不安感を取り除く指導をしてもらうため、取扱
いに困った「メール」を送信してもよい、情セン「めいわくメールシュレッター」を設置しました。

情セン「めいわくメールシュレッター」は、以下のメールアドレスに、取扱いに困った
「メール」を転送すると適切に処理を行います。児童生徒への指導にお役立てください。

chainmail01@hokkaido-c.ed.jp	chainmail02@hokkaido-c.ed.jp
chainmail03@hokkaido-c.ed.jp	chainmail04@hokkaido-c.ed.jp
chainmail05@hokkaido-c.ed.jp	chainmail06@hokkaido-c.ed.jp
chainmail07@hokkaido-c.ed.jp	chainmail08@hokkaido-c.ed.jp
chainmail09@hokkaido-c.ed.jp	chainmail10@hokkaido-c.ed.jp

- 上記のどのアドレスに送信しても、完全にメールを削除します。
- 誰からどんなメールが送信されたかは一切公表しません。(件数や概要は個人情報を削
除した上で公表することがあります。)
- 昨年度1年間で約200通の「めいわくメール」が寄せられ、全て削除しております。

☆チェーンメールを題材として情報教育を一步進めましょう！

- <情報活用の実践力>・・・必要な情報を主体的に収集・判断
- <情報の科学的な理解>・・・情報を適切に扱うこと
- <情報社会に参画する態度>・・・社会生活の中での情報の役割、望ましい情報社会に参画する態度

情セン「めいわくメールシュレッター」の使い方や、チェーンメールの指導でお困りのことがあれば、附属
情報処理教育センターまでご相談ください。(電話 011-386-4524、メール ipcc@hokkaido-c.ed.jp まで)